

令和5年4月10日



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.1 (69号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

充実した1年にするために

校長 梅澤 薫

日ごとに日差しの強さが増し、今年も春の訪れに喜びを感じられる季節となりました。

新入生 70 名、7 年生 55 名の児童・生徒を、前期課程（小学部）副校長をはじめ 8 名の教職員を迎え、令和 5 年度西金沢学園の 1 年が始まりました。

児童・生徒の皆さん入学、進級おめでとうございます。これからの 1 年間、また新たな気持ちで様々なことに一生懸命取り組みましょう。保護者、地域の皆様には、今年度も本校への変わらぬご支援、ご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度後半からようやく新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着き始め、学校においても様々な取り組みが大きな制限を受けることなく実施できるようになりました。卒業式や前期課程修了式においても、本来の形に近づけて実施できたことを喜んでます。普段の教育活動においても、今後は制限の無い形での実施がさらに増えていくことと思います。昨年度以上にいろいろな場面で活躍する児童・生徒の姿が見られるのではと楽しみにしています。

そのためにも、本校では義務教育学校となってから 7 年目を迎えるにあたり、本校の特徴をさらにいかし他校にない特色ある取り組みや体験を充実させ、9 年間という時間をさらに一人ひとりのより良い成長につなげていこうと考えています。その第一歩として、既にお知らせしましたように時程の一部を変更しました。これにより前期課程教職員と後期課程教職員が協働する場面を増やすことが可能になり、指導体制の幅を広げることを目指します。具体的な取り組みの一つとして、6 年生および 7 年生の複数教科において両課程教員による協働での指導実践を取り入れます。これにより児童は、後期課程における学習方法などを早くから経験することができるようになり、後期課程生徒については前期課程教員が指導に加わることで、より安心して学習に取り組めるようになるのではと期待するところです。また、部活動指導においても前期課程の教職員が指導に当たる場面を増やすことで、部活動に参加している児童についてだけではなく、学校全体での児童・生徒理解につながればとも考えているところです。その他にも教職員が前期課程、後期課程の区別なく多くの場面で児童・生徒と関わりをもつことを推進していきたいと考えています。学校行事においても児童・生徒が協力して取り組む場面を増やし、貴重な経験を多くもてるようにできればとも考えています。

今後これらの本校ならではの取り組みを継続して推進していくことで、本校が目指す児童・生徒の姿に近づけるのではと期待しているところです。

少しずつでも歩みを止めない、常により良い自分を目指してほしいと子どもたちにはよく話しています。学校も、同じようにより良いものを目指す中で、適切な方法を見定めながら取り組みを進めていきます。ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

児童・生徒の皆さん、改めてよろしくお願いいたします。最後にふり返った時に今までで最高の一年だったと誰もが思える年にしましょう。